

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式					
M212R202		母性看護方法論Ⅰ (Maternal Nursing Practice Ⅰ)					母性看護学		対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	2	医学部看護学科	後期	木1	日本語		複数(共同)						
担当教員	氏名 幸松美智子、小柳 麻央、非常勤講師：林猪都子、特別講演講師：三重野真美													
	E-mail yukimats@oita-u.ac.jp (幸松) 内線 5075 (幸松)													
授業の概要	周産期の看護を中心に、妊娠・分娩までの女性と胎児およびその家族を理解するための基礎的知識と援助の基本を学び、母性看護の実践に向けた基礎を育成する。 また、近年注目されているプレコンセプションケア（妊娠前からの健康管理）について理解を深め、女性のライフサイクルを通じた健康支援の視点を養う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	妊娠・分娩期の女性と胎児の生理的变化や経過および支援について理解できる							○		○				
目標2	ハイリスク状態にある妊産婦のリスク因子とその支援について理解できる							○		○				
目標3	プレコンセプションケアにおける看護職の役割と支援の在り方を理解し説明できる							○		○				
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度 (計10)								5		5				
授業の内容														
1	妊娠期にある母子（胎児）の生理													
2	妊娠期にある母子（胎児）のアセスメント													
3	妊娠期にある母子（胎児）と家族の看護1													
4	妊娠期にある母子（胎児）と家族の看護2													
5	妊娠期にある母子（胎児）の正常逸脱と看護（妊娠悪阻、流産・早産、妊娠高血圧症候群等）													
6	妊娠期にある母子（胎児）の正常逸脱と看護（妊娠貧血、常位胎盤早期剥離、前治胎盤、多胎妊娠、糖代謝異常合併妊娠等）													
7	分娩期にある母子（胎児）の生理													
8	分娩期にある母子（胎児）の経過とアセスメント、看護													
9	分娩期にある母子（胎児）と家族の看護													
10	分娩期にある母子（胎児）の正常逸脱と看護													
11	プレコンセプションケア啓発推進出前講座：【委託元】大分県【委託先】大分県助産師会													
12														
13														
14														
15														
ラ ク エ ス テ ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A：個人・グループテスト、教員フィードバック					工 夫 そ の 他 の	視聴覚教材を用い、講義内容を具体的にイメージできるよう取り組む。					
	B:意見の表現・交換	○	B：グループディスカッション											
	C:応用志向	○	C：チームアピール・応用課題											
	D:知識の活用・創造		：チームアピール・応用課題											
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	教科書および講義で紹介する参考文献を用いて、次回の学習内容について予習する(11.5h)												
	事後学修	講義を受け、考えたり、気づいたりしたことをアクションレポートにまとめる。また、教科書や資料を用いて講義で学んだ内容を復習する(11.5h)												
	想定時間合計	23												
教科書	・小林康江、中込さと子、荒木奈緒（2024）：ナーシング・グラフィカ 母性看護学②母性看護の実践、第3版、メディカ出版、ISBN978-4-8404-8161-8 ・医療情報科学研究所編集（2018）：病気がみえるVol.10産科、第4版、メディクメディア、ISBN978-4-89632-713-7 ・医療情報科学研究所編集（2018）：病気がみえるVol.9婦人科・乳腺外科、第4版、メディクメディア、ISBN978-4-89632-712-0													
参考書	適宜紹介する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		90%	○	○								
	アクションレポート		10%	○	○								
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	辛松美智子（看護師）、小柳麻央（看護師・助産師）、林猪都子（看護師・助産師）、三重野真美（看護師・助産師）												
実務経験を いかした教育内容	母性看護領域における看護の役割や実際について、臨床事例を紹介しながら説明する。												